

指定地を守る！柵完成！ 進むクラウドファンディングによる整備

指定地の保護のため、木柵を設置しました。さらに給水バルブの蓋も新しくなりました。これらの事業は昨年実施したクラウドファンディングの寄付により実現いたしました。また9月、12月、3月には除草や実験地の株分けも実施できました。東野自治会による畦道の除草も行われました。ご支援、ご協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

今後も群落の保護に努めてまいります。



本格的な給水はじまる

季節も春になり、指定地、実験地に本格的に給水を行っていきます。ノハナショウブは乾燥を嫌うので、水位を一定に保ち成長に適した環境を整えます。また、水位が保たれることで非湿地性の植物が枯れ、ノハナショウブが十分な栄養を吸収することが期待されます。



どんど花通信

斎宮跡・文化観光課が発行する「さいくうあと通信」の派生紙。斎宮のハナショウブ群落を中心に定期的に町花であるノハナショウブの情報を発信します。